

平成 29年度事業報告書

社会福祉法人 札幌肢体不自由福祉会

社会福祉法人札幌肢体不自由福祉会は平成23年に設立し、第2種社会福祉事業の生活介護事業所「O・H・G(おはぎ)」、居宅介護(重度訪問介護)事業所「ヘルパーステーションDAI-ふく」と、公益事業の地域共同作業所「ふれあいセンター823」、「ふれあいセンター翔」を運営して参りました。その後、平成25年3月末で「ふれあいセンター823」を閉鎖し、その事業活動を生活介護事業所「O・H・G(おはぎ)」に移行しており、平成27年8月末には「ふれあいセンター翔」を閉鎖し、その事業活動を同年9月開設の生活介護事業所「O・むすび」に移行しており、法人設立時の課題であった地域共同作業所の社会福祉事業化(生活介護事業への移行)が、平成27年度で完了しております。

なお、公益事業の福祉有償運送事業については、当法人の柱でもある社会福祉事業(生活介護事業、居宅介護・重度訪問介護事業)の需要(利用者)の増加により、人的・物的(支援員、運転員、車両)に調整が困難となったことから、平成26年11月より事業の活動を見合わせております。

法人の基本方針及び運営理念に基づいて実施した平成29年度事業の結果について報告します。

1 法人の基本方針

誰もが人として認められ、幸せに生きることができる社会の実現をめざすとともに、地域との結びつきを重視し、利用者及びその家族が地域住民との交流の機会が確保されるよう努めます。

また、事業運営にあたっては、常に福祉サービスを受ける側の立場に立って、個の尊重及び自立支援を基礎に、利用者本位の良質かつ適切な福祉サービスを提供します。

2 運営理念

- (1) 重度障がい児者の尊厳を守るとともに、「利用者本位の運営」を行います。
- (2) 地域の方々との交流を深め、「社会参加の促進」を図ります。
- (3) 重度障がい児者に対する「日常生活の支援」を行います。
- (4) 一般就労が困難な重度障がい児者に対し、「創作的活動の機会」を提供します。
- (5) 当事者団体だからこそできる「思いを形」にします。

【実施事業】

事業名	施設区分	施設種別・施設名	定員
第 二 種 社会福祉 事 業	障害福祉サービス	生活介護事業 O・H・G(おはぎ)	20名
	障害福祉サービス	生活介護事業 O・むすび(おむすび)	20名
	障害福祉サービス	居宅介護事業 ヘルパーステーション「DAI-ふく」	
	障害福祉サービス	重度訪問介護事業 ヘルパーステーション「DAI-ふく」	
	障害福祉サービス	移動支援事業 ヘルパーステーション「DAI-ふく」	

3 評議員の状況(定数9名)

※社会福祉法の改正により、平成29年2月23日開催の評議員選任・解任委員会において選任

平成29年4月1日就任、任期:平成33年6月に開催予定の定期評議員会終了時まで(役職等は選任時現在)

役職名	氏名	就任年月日	異動	備考
評議員	石川 誠 丈	平成29年4月1日	新任	住職、民生・児童委員
評議員	落合 正 子	平成29年4月1日	新任	元NPO法人理事長
評議員	才野 修 広	平成29年4月1日	新任	利用者家族
評議員	瀧 三紀子	平成29年4月1日	新任	利用者家族
評議員	花田 貴 博	平成29年4月1日	新任	有限会社代表
評議員	松坂 優	平成29年4月1日	新任	社会福祉法人理事長
評議員	武藤 雅 人	平成29年4月1日	新任	会社員
評議員	吉田 貫 一	平成29年4月1日	新任	会社代表取締役
評議員	渡辺 あや子	平成29年4月1日	新任	NPO法人会長

4 役員の状況(定数:理事6名、監事2名) 改選:平成29年3月25日(役職等は改選時現在)

※社会福祉法の改正により、平成29年6月23日開催の定時評議員会終了時までの任期

役職名	氏名	就任年月日	異動	備考
理事長	山内 まゆみ	平成23年3月25日	重任	NPO法人理事
理事	我妻 武	平成27年3月25日	重任	NPO法人理事長、社会福祉法人理事
理事	中平 寛	平成29年3月25日	新任	公益財団法人常務理事(事務局長)
理事	徳永 瑞穂	平成29年3月25日	新任	NPO法人事務局長
理事	菊地 ひとみ	平成23年8月24日	重任	法人施設長
理事	内海 信一郎	平成27年3月25日	重任	法人事務局長
監事	齋藤 洋介	平成27年6月1日	新任	社会福祉法人職員(副園長)
監事	泉 司	平成27年8月5日	新任	一般社団法人常務理事(事務局長)

○社会福祉法の改正により、平成29年6月23日開催の定時評議員会で選任(役職等は改選時現在)

※任期:平成31年6月に開催予定の定期評議員会終了時まで

役職名	氏名	就任年月日	異動	備考
理事長	山内 まゆみ	平成23年3月25日	重任	NPO法人理事
理事	我妻 武	平成27年3月25日	重任	NPO法人理事長、社会福祉法人理事
理事	中平 寛	平成29年3月25日	重任	公益財団法人常務理事(事務局長)
理事	徳永 瑞穂	平成29年3月25日	重任	NPO法人事務局長
理事	菊地 ひとみ	平成23年8月24日	重任	法人施設長
理事	内海 信一郎	平成27年3月25日	重任	法人事務局長
監事	齋藤 洋介	平成27年6月1日	重任	社会福祉法人職員(副園長)
監事	泉 司	平成27年8月5日	重任	一般社団法人常務理事(事務局長)

5 評議員会の開催状況

区分	開催月日	出席者数	議 題 等
定 時	平成29年6月23日 (金)	評議員9名中 6名出席 役員の状況 理事 5名出席 監事 1名出席	<p><決議事項></p> <p>①平成28年度事業報告書の件 ②平成28年度決算報告書の件 ③役員等報酬規程に関する件 ④理事、監事の選任の件 ※全て原案どおり承認、可決</p> <p><報告事項></p> <p>①平成28年度予算流用の報告 ②平成28年度決算監査報告</p>

6 理事会の開催状況

区分	開催月日	出席者数	議 題 等
第1回	平成29年5月22日 (月)	理事 6名 監事 2名	<p><決議事項></p> <p>①平成28年度事業報告書の件 ②平成28年度決算報告書の件 ③役員等報酬規程に関する件 ④経理規程の一部改訂の件 ⑤次期理事、監事の選任に関し評議員会へ候補者名簿を提出する件 ⑥定時評議員会の招集に関する件 ※全て原案どおり承認、可決</p> <p><報告事項></p> <p>①平成28年度予算流用の報告 ②平成28年度決算監査報告</p>
臨時会 (第2回)	平成29年6月23日 (金)	理事 5名 監事 1名	<p><決議事項></p> <p>①新理事長の選任の件 ※理事長に山内理事を選任</p>
臨時会 (第3回)	平成29年9月25日 (月)	理事 5名 監事 2名	<p><決議事項></p> <p>①非常勤職員就業規則の一部改訂の件 ②準職員給与規程の一部改訂の件 ※全て原案どおり承認、可決</p> <p><報告事項></p> <p>①『フライングスター基金』より「車いす送迎車」贈呈の決定報告</p>
定時会 (第4回)	平成29年11月2日 (木)	理事 6名 監事 2名	<p><決議事項></p> <p>①正職員給与規程の一部改訂の件 ②平成29年度第1次補正予算に関する件 ※全て原案どおり承認、可決</p> <p><報告事項></p> <p>①理事長の職務執行状況の報告 ②平成29年度上期事業報告 ③平成29年度第1・四半期の監事監査報告 ④札幌市の平成29年度指導監査報告</p>

区分	開催月日	出席者数	議 題 等
臨時会 (第5回)	平成30年3月29日 (木)	理事 4名 監事 1名	<p><決議事項></p> <p>①平成29年度第2次補正予算に関する件</p> <p>②施設長の継続雇用に関する件</p> <p>③運営規程の一部変更に関する件</p> <p>④平成30年度事業計画・予算に関する件</p> <p>※全て原案どおり承認、可決</p> <p><報告事項></p> <p>①平成29年度第2及び第3・四半期の監事監査報告</p>

7 監事監査の状況

回数	区分及び開催月日	監 査 内 容	意 見
第1回	<p>・平成28年度決算監査</p> <p><業務監査></p> <p>平成29年5月12日(金)</p> <p><会計監査></p> <p>平成29年5月15日(月)</p>	<p><業務監査></p> <p>①規程、役員・理事会・評議員会の運営状況</p> <p>②人事・労務管理の運営状況</p> <p>③事業活動状況、施設・事業の運営管理状況</p> <p>④福祉サービスの質の向上のための取組状況</p> <p><会計監査></p> <p>⑤指摘事項等の改善状況</p> <p>⑥会計帳簿の状況</p> <p>⑦予算の編成状況</p> <p>⑧出納・財務の状況</p> <p>⑨契約状況</p> <p>⑩資産・負債の管理状況</p> <p>⑪決算書類の作成状況</p> <p>⑫法人の財務状況</p>	<p>「総括意見」</p> <p>適正に運営されている</p> <p>「各項目における意見」</p> <p>①から⑫の各項目について、適正に処理されている</p>
第2回	<p>・第1・四半期監査</p> <p><業務監査></p> <p>平成29年9月21日(木)</p> <p><会計監査></p> <p>平成29年9月25日(月)</p>	<p><業務監査></p> <p>①組織運営状況</p> <p>②事業活動状況、施設・事業の運営管理状況</p> <p>③福祉サービスの質の向上のための取組状況</p> <p><会計監査></p> <p>④指摘事項等の改善状況</p> <p>⑤会計帳簿の状況</p> <p>⑥予算の編成状況</p> <p>⑦出納・財務の状況</p> <p>⑧資産・負債の管理状況</p> <p>⑨法人の財務状況</p>	<p>「総括意見」</p> <p>概ね適正に運営されている</p> <p>「各項目における意見」</p> <p>①から⑨の各項目について、適正に処理されている</p> <p>・一部の事務処理について、見直し改善の検討を行うよう要望があった</p>

回数	区分及び開催月日	監査内容	意見
第3回	・第2・四半期監査 <業務監査> 平成29年11月9日(木) <会計監査> 平成29年11月13日(月)	<業務監査> ①組織運営状況 ②事業活動状況、施設・事業の運営管理状況 ③福祉サービスの質の向上のための取組状況 <会計監査> ④指摘事項等の改善状況 ⑤会計帳簿の状況 ⑥予算の編成状況 ⑦出納・財務の状況 ⑧資産・負債の管理状況 ⑨法人の財務状況	「総括意見」 適正に運営されている 「各項目における意見」 ①から⑨の各項目について、適正に処理されている
第4回	・第3・四半期監査 <業務監査> 平成30年2月13日(月) <会計監査> 平成30年2月15日(木)	<業務監査> ①組織運営状況 ②事業活動状況、施設・事業の運営管理状況 ③福祉サービスの質の向上のための取組状況 <会計監査> ④指摘事項等の改善状況 ⑤会計帳簿の状況 ⑥予算の編成状況 ⑦出納・財務の状況 ⑧資産・負債の管理状況 ⑨法人の財務状況	「総括意見」 適正に運営されている 「各項目における意見」 ①から⑨の各項目について、適正に処理されている

8 第三者委員の状況(定数:2名)改選:平成29年3月25日(任期:平成31年3月24日まで)

苦情解決に社会性や客観性を確保し、利用者の立場や状況に配慮した適切な対応を図るために設置。
 なお、今年度第三者委員が対応した苦情処理案件は0件。

(1) 第三者委員(役職等は改選時現在)

氏名	就任年月日	区分	備考
齋藤洋介	平成27年6月1日	重任	社会福祉法人職員、当法人監事
中村康子	平成24年10月31日	重任	大学非常勤講師

(2) 委員会の開催

第1回委員会【平成29年11月27日(月)】委員2名出席、理事長、施設長、事務局長

案件

- ①平成28年度及び平成29年度上期ヒヤリハット、意見・要望、苦情、事故報告について
- ②意見交換

9 運営会議の開催

法人運営に関して、経営及び運営状況の現状と課題等を把握・検討するとともに、各管理者及び施設等の事業報告、日程調整を行い、法人経営の改善と事業運営の円滑化を図るために実施。

また本年度から、現場の意見が反映でき、かつ法人の運営方針の浸透を図るため、各施設の管理者等を交えた『拡大運営会議』を開催している。

(1) 運営会議

開催月日	出席者	協議事項等
平成29年4月17日 (月)	理事長 施設長 事務局長	①保護者会について ②当面する日程、諸課題の調整
平成29年5月16日 (火)	理事長 施設長 事務局長	①第1回理事会の提案議題について ②新たな事業展開について ③当面する日程、諸課題の調整
平成29年6月1日 (木)	理事長 施設長 事務局長	①定時評議員会の提案議題について ②賞与支給率について ③各事業所の状況と課題について ④当面する日程、諸課題の調整
平成29年7月27日 (木)	理事長 施設長 事務局長	①新たな事業展開について ②当面する日程、諸課題の調整
平成29年9月4日 (月)	理事長 施設長 事務局長	①臨時理事会の提案議題と日程について ②非常勤職員・準職員の時給単価改訂と正職員の給与改定について ③各事業所の状況と課題について ④当面する日程、諸課題の調整
平成29年9月28日 (木)	理事長 施設長 事務局長	①定時理事会の提案議題と日程について ②監事監査で要望のあった事務処理の見直しと改善についての検討 ③各事業所の状況と課題について ④当面する日程、諸課題の調整
平成29年10月26日 (金)	理事長 施設長 事務局長	①上半期の予算執行状況について ②当面する日程、諸課題の調整
平成29年11月27日 (月)	理事長 施設長 事務局長	①下半期の予算執行状況の見込みについて ②各事業所の状況と課題について ③当面する日程、諸課題の調整
平成29年12月27日 (水)	理事長 施設長 事務局長	①11月末時点の月次決算状況報告について ②各事業所の状況と課題について ③当面する日程、諸課題の調整
平成30年1月30日 (火)	理事長 施設長 事務局長	①12月末時点の月次決算状況報告について ②各事業所の状況と課題について ③当面する日程、諸課題の調整

開催月日	出席者	協議事項等
平成30年2月8日 (木)	理事長 施設長 事務局長	①新たな事業展開及び新年度予算方針について ②職員採用及び登用について ③各事業所の状況と課題について ④当面する日程、諸課題の調整
平成30年3月12日 (水)	理事長 施設長 事務局長	①新年度予算について ②次回理事会の提案議題について ③当面する日程、諸課題の調整

(2) 拡大運営会議

開催月日	出席者	協議事項等
平成29年6月22日 (木) ※拡大運営会議	理事長 施設長 事務局長 各施設管 理者・チーフ	①H28年度決算及びH29年度予算について ②利用者・保護者のアンケートについて (新たな事業展開に向けて、利用者・家族の要望調査) ④各施設の状況と課題、対応策につて ⑤当面する日程、諸課題の調整

10 常勤職員会議、スタッフ会議、ドライバー会議の開催

(1) 常勤職員会議(月1回開催、O・H・G～第3水曜日、O・むすび～第2水曜日)

施設長と各生活介護事業所の常勤支援員を対象に、状況に応じて看護職、運行管理員、事務局も加わり、毎月1回、事業所ごとに開催。このほか、両事業所合同の常勤会議も随時開催。

各事業所における行事及び利用者の状況等の確認とスタッフ会議に向けた案件の検討を行うとともに、「ヒヤリハット」案件の報告と課題や事故再発防止対策の検討、並びに利用者の処遇及び事業所の運営上重要な事項の連絡を行い、常勤支援員の連携と情報の共有化を図っている。

また、合同の常勤会議では、各事業所の状況報告、課題の提供を行うことで、事業所間の情報の共有化を図るとともに、合同で実施する行事等の検討、調整を行い、各事業所間の連携も図っている。

(2) スタッフ会議(月1回開催、O・H・G～第4月曜日、O・むすび～第2金曜日)

各事業所の全ての支援員、看護職員を対象に、状況に応じて運行管理員、事務局も加わり、月1回開催。

行事、連絡事項の伝達のほか、利用者の処遇や行事・送迎・入浴などサービス提供に関する課題の検討及び「ヒヤリハット」案件の報告と課題や防止対策の共有化を図るとともに、職員の勤務体制並びに事業所内の衛生保持に関することなどについて検討している。また、外部研修等の報告及び事例発表を行うことで、技術の向上や事故予防意識を醸成するとともに、各利用者の現状と活動上の課題等を把握し、職員間での現状認識の統一及び知識、技術の共有化を図っている。

(3) ドライバー会議(原則偶数月に、合同で開催。状況によっては施設単位で開催)

各生活介護事業所の送迎運転員を対象に、運行管理員、事務局長若しくは施設長が加わり開催。

時期に応じた安全運転に対する注意喚起と、行事、連絡事項の伝達のほか、利用者の状況変化等により送迎時における対応や注意点の確認、「ヒヤリハット」案件の報告と課題や防止対策の共有化を図るとともに、送迎車両の点検・確認を行うことで、安心・安全な送迎サービスを提供できるように意識の向上を図っている。

11 職員の配置状況

※()は外数で兼務職員

所属	職種	H29年 3月末日	H29年 4月1日	増	減	H30年 3月末日	備考
本部事務局 (事務局長含む)	正職員	4	4	0	0	4	
	準職員	0	0	0	0	0	
	非常勤職員	0	0	0	0	0	
	計	4	4	0	0	4	
生活介護事業 O・H・G(おほぎ) (管理者含む)	正職員	4	5	0	1	4	・派遣職員
	準職員	5	4	5	5	4	H29.8から1名
	非常勤職員	13	11	2	1	12	H29.12から1名
	計	22	20	7	7	20	
生活介護事業 O・むすび(おむすび) (管理者含む)	正職員	(1) 4	(1) 4	0	1	(1) 3	・派遣職員
	準職員	1	1	3	1	3	H29.10まで1名
	非常勤職員	13	13	1	1	13	H29.8から1名
	計	(1)18	(1)18	4	3	(1)19	
居宅介護事業 (重度訪問介護) DAI-ふく	正職員	(1) 1	(1) 2	0	0	(1) 2	
	準職員	(3) 1	(3) 0	0	0	(3) 0	
	非常勤職員	0	0	0	0	0	
	計	(4) 2	(4) 2	0	0	(4) 2	
法人全体	正職員	(2)13	(2)15	0	2	(2)13	・派遣職員
	準職員	(3) 7	(3) 5	8	6	(3) 7	H29.10まで3名 H29.11まで2名
	非常勤職員	26	24	3	2	25	H29.10まで3名
	合計	(5)46	(5)44	11	10	(5)45	

※H29.3.31付け退職者:非常勤職員2名(O・H・G)(内訳:支援員1名、送迎員1名、契約期間満了2名)

※H29.4.1付け正職員登用者(準職員より):(O・H・G)1名、(DAI-ふく)1名

※H29.4.2以降の年度途中採用者11名:準職員8名～内訳:支援員7名(O・H・G)5名、(O・むすび)2名
看護師1名(O・むすび)

非常勤職員3名～内訳:支援員2名(O・H・G)1名、(O・むすび)1名
配膳員1名(O・H・G)

※H29.4.2以降の年度途中退職者10名:正職員2名～内訳:支援員2名(O・H・G)1名、(O・むすび)1名
準職員6名～内訳:支援員6名(O・H・G)5名、(O・むすび)1名

非常勤職員2名～内訳:支援員1名(O・むすび)1名
配膳員1名(O・H・G)

(退職事由内訳:期間満了1名、自己都合9名～うち転職2名、転居1名、体調不良3名、その他3名)

※H30.3.31付け退職者:正職員1名(本部、定年)、非常勤職員1名(O・H・G、送迎員、契約期間満了)

12 職員研修の状況

【内部研修】

研修名	開催月日	開催場所	担 当	出席者数
生活介護事業所見学 (医療ケアと支援体制)	11月30日(木)	アンビシャス エンデバー	施設長、事業所管理 者、チーフ	4名
生活介護事業所見学 (入浴支援体制と施設見学)	7月11日(火) ～7月13日(木)	生活介護事業所 SORA	施設長、O・H・G支援 員	14名
発達障害事例検討	11月30日(木)	O・H・G	生活介護ネットワーク 会議	14名

【外部研修】

研修名	開催月日	開催場所	主 催	出席者数
介護セミナー	5月26日(金)	つどーむ	パナソニック(株)	1名
社会保険委員会	5月26日(金)	さっぽろ芸文館	札幌西社会保険委員会	1名
障がいサービスの今後の動向	6月24日(土)	札幌東区民センタ ー	NPO 法人自立支援セ ンター歩歩路	1名
北翔会 日中活動支援連絡会 議研修会	7月13日(木)	札幌あゆみの園	日中活動支援連絡会議	3名
ノロウイルス予防体感セミナー	7月14日(金)	T マークシティホテ ル札幌	(株)ダスキンサーヴ北 海道	2名
社会福祉法人・社会福祉施設 ブロック研修会	8月3日(木)	かでの2・7	北海道社会福祉協議 会	1名
新指導監査実施要綱対応セミ ナー	8月23日(水)	かでの2・7	税理士法人さくら総合 会計	1名
パワーアップ！札幌フォーラム	9月7日(木)	ニトリ文化ホール	札幌商工会議所	2名
障害者の人権を考える	9月23日(土)	身体障害者福祉 センター	NPO 法人ホップ障害者 地域生活支援センター	1名
災害対応講演会	10月4日(水)	ワクワクホリデーホ ール	札幌市	1名
障害者虐待防止研修	11月14日(火) 15日(水)	かでの2・7	北海道	1名
集団指導	11月20日(月)	ワクワクホリデーホ ール	札幌市	3名
安全運転管理者講習	11月21日(火)	ホテルヤマチ	公安委員会	1名
管理者の思いを共有する座談 会	11月30日(木)	東区役所	札幌市自立支援協議 会	1名
介護報酬改定について	1月17日(水)	パナソニック	パナソニック(株)	1名
重症心身障害に伴いがちなて んかん	3月4日(日)	ちえりあ	日本光電工業(株)	1名
障がいがあったって人生イロイ ロ！	3月10日(土)	市民活動プラザ星 園	お知り合い協会	1名
豊平区自立支援協議会	3月27日(火)	豊平区民センター	豊平区自立支援協議会	1名

※内部研修、外部研修参加後には、報告書を提出しスタッフ会議などで内容を報告。

【個別面談】※個別面談は、原則理事長と施設長が年間を通して2回実施

実施期間	対象職員
4月4日～	全職員

【新人研修】※原則該当職員の個別面談時に実施

当法人の運営方針の理解、及び職員としての倫理、接遇などを行う。

実施期間	対象職員
11月17日～3月9日	山本砂織、菅原祐美子、川口哲昌、安房愛子、谷 悟美

【資格取得研修】

研修名	開催月日	開催場所	講義内容等	参加数
通信制「実務者研修講座」受講 (H29年度5月生、6月生、7月生)	H29.5.1～ H29.10.31 ※内スクーリング 8日間	日本福祉アカデミー 札幌校	・通信学習(4回課題提出) ・通学:介護課程Ⅲ(6単位)、医療的ケア(2単位)、合計8単位 ・受講者の保有資格により 50時間～450時間	5月生 3名 6・7月生 各1名

※通信制「実務者研修講座」は有期雇用(準・非常勤)職員受講につき、労働局のキャリアアップ助成金事業を活用している。

13 監査、運営指導等

(1) 札幌市による社会福祉法人の指導監査の実施

- ・ 監査実施日：平成29年7月12日(水)
- ・ 監査担当者：札幌市保健福祉局 監査指導課(2名)、障がい者福祉課(1名)
- ・ 当方対応者：理事長、齋藤監事、施設長、事務局長
(法人待機職員～生活介護事業(OHG)管理者、居宅介護事業管理者、事務員)
- ・ 対象事業等：平成28年度事業～平成29年度定時評議員会まで

※法人運営・経理、職員処遇・防災関係～定款・規則期待関係、辞令簿・雇用契約等人事関係、出勤簿・給与台帳等、職員研修関係、会計・経理関係、契約関係、消防・防災関係、庶務関係、社会福祉法人運営調書、社会福祉法人概況調書、平成29年度予算及び事業計画書、平成28年度決算関係等、法人登記簿
※利用者処遇関係～施設・備品関係、利用者説明及び契約関係、サービス提供関係、請求及び利用者負担額関係、衛生・緊急時対応関係、苦情処理・事故処理関係、各種届出関係、その他個人情報・車両運行管理簿等の諸帳簿

(2) 社会福祉法人の指導監査の実施結果(平成29年10月17日付で通知)

特に指導すべき事項は認められない旨の通知を受ける。なお、次の4点の口頭指導事項を受けた。

- ①利用者等に求めることのできる金銭の額については、重要事項説明書の外、運営規程にも明記すること。(ヘルパーステーションDAI-ふく)
- ②法定代理受理の通知は、事業者名(理事長名)で行うこと。(ヘルパーステーションDAI-ふく)
- ③利用者に対する個別支援計画の説明は、計画開始前に行うこと。(O・H・G、O・むすび)
- ④時間外労働に係る事務処理につて、日々の所定労働時間に対し時間外労働時間が明確となるよう、また、少なくとも実施後の時間外労働に対する所属長の現認印を押印できるよう、様式の変更を検討すること。

14 職員の事故等の状況

(1) 業務中の事故等

① 事業所内 1件(介助中に利用者がバランスを崩したため支えようと腰を反らしたことによる腰痛)

負傷等の状況は、筋筋膜性腰痛症のため3週間湿布薬を貼り安静にする。その後痛みも治まったため、再診し、通常の勤務に戻っている。通院は2日間で終え、完治している。(労災申請)

② 送迎従事中の事故 2件(送迎中、交差点で車両と接触事故1件、駐車場で車両との接触事故1件)

・交差点での接触事故は、帰りの送迎中で利用者が乗車していたが、幸い利用者、運転手ともに負傷はなく、車両の一部破損となっている。事故の状況は、当法人車両が交差点を直進中、一時停止標識のある道路から車両が侵入し接触事故となる。(物損事項、双方の任意保険対応)

・駐車場でのご飯事故は、帰りの送迎を終え、トイレを利用するため立ち寄ったコンビニの駐車場で、駐車中の車両に接触し、車両の一部を破損している。(物損事項、任意保険対応)

③ 通勤時 2件(朝の通勤時の事故～転倒1件、追突事故1件)

・転倒事故は、朝の通勤時に凍った歩道で滑って転倒し、足のじん帯損傷と腰の打撲を負う。(労災申請)

・追突事故は、朝の通勤時に信号で停止しているところにスリップしてきた車両に追突され、自己車両の一部が破損する。(物損事項、任意保険対応)

(2) 感染症等による体調不良

① 感染症 22件(インフルエンザ:本人5件、家族等15件、その他感染症:家族2件)

※その他感染症は、溶連菌、マイコプラズマ肺炎である。

15 各事業運営の状況

1. 支援方針及びサービス内容に関して

(1) 個別支援計画の作成

毎日の記録の作成及び支援会議内における利用者個々の検討の積み重ねにより、利用者及び家族のニーズに沿った支援を行うことが出来るよう、計画の作成に努めている。

相談支援事業所によるサービス利用計画の作成がなされるようになったため、外部の相談支援事業所とのやり取りが増え、個別支援計画の作成にも反映されてきている。

(2) 食事サービスの提供

給食は、前年度と同様に週3回(月、水、木)実施している。

給食が提供されない火・金曜日は、お弁当屋さんからの購入や、散歩を兼ねて近くの店へ買い物に行く等の対応を行っている。

弁当の購入は、利用者にとっても非常に楽しみな時間となっており、また、業者の方との会話やお金の受け渡しなど、社会との貴重な接点となっており、社会性を養う上で大切な体験となっていることから、今後もこの給食提供の体制を続けていく考えである。

(3) 入浴サービスの提供

入浴は、週5日(月～金曜日)実施している。男性と女性を午前と午後に分け対応している。

個人個人の希望に合わせた入浴介助を基本とし、利用者同士や職員とのコミュニケーションを楽しみながらゆったりと入浴できるように努めている。

また、感染症(白癬菌等)の対応が必要な利用者が増えてきたことから、利用時間の調整やタオルの管理など衛生面での対応に充分注意して実施している。

障がいの状況の変化等により、入浴介助が難しくなっている利用者もおり、浴室内の環境整備や入浴機器の導入などの検討が課題となっており、リフトの導入に向け検討をしている。

(4) 送迎サービスの提供

送迎に関しては、2つの事業所で送迎範囲を決めることで市内全域送迎を維持している。

送迎車の台数は14台となり台数としては満たされてきたが、車椅子ごと乗車できる人数が少ないことが課題として残っている。

古くなってきた送迎車の整備にも費用がかかってきており、入替を考えなければならない時期に来ている車両もあることから、今後も送迎車の確保に努めなければならない。

また、ドライバーの資質の向上と職員間の連携を図るため、会議や研修を実施し、利用者との関係づくりや安全で安心して利用できる送迎サービスの提供に努めている。

(5) 健康管理及びバイタルチェック

看護師を中心に、毎日の健康管理を行っている。

投薬の管理については、職員間でのチェックを行うなど、誤薬や飲み忘れの防止に努めている。

各業務のマニュアルを作成し、事業所内の衛生管理も行っている。

特にノロウイルス発生時のマニュアルの見直しや、マニュアルにあるような動きができるようにするための研修の実施が課題となっており、実際に行動内容を確認するための打ち合わせを行っている。

(6) 創作的活動及び生産活動(布製品等の小物類の製作)、余暇活動

生産活動に関しては、利用者の身体機能や嗜好に合わせて、縫い物だけではなく、誰でも参加できる内容の作業を取り入れている。

利用者の身体状況を見ながら作業量を調整するように配慮しているが、頑張りすぎてしまう利用者もいるため、休憩が取れるよう職員からの声掛けや、違う作業に参加してもらうなど、気分転換を図りながら対応している。

日中活動の中で使用するゴミ袋丸め等の軽作業や、レクリエーションのまとめ等の作業もメニューに取り入れることで、利用者同士のやり取りが増えるような場面を多くしている。

午前と午後の活動内容も数種類に分け、利用者の希望や考えで活動に参加してもらうようにしてきており、作業のみではなく、利用者同士や職員との関わりを持つ時間も大切にしながら進めている。昼休みなどには、同じ趣味を持っている利用者が集まって会話を楽しむ様子も毎日のように見られている。

ゆっくりではあるが、利用者が集団生活の中で待つことが出来たり、自分の気持ちを押しえたりすることが出来るようになってきており、成長してきている様子が見られている。

また、自分でできることを時間をかけて行ってもらうことで、自信をもって行動することができるように促している。

土曜のレクリエーションに関しては、内容をバラエティーに富んだものにし、外出する機会も多く作るなどしていることで、参加者が多くなっている。調理を伴うレクリエーションや外出するレクリエーションには参加希望者が多く、同じレクリエーションを2回行うなどして参加人数の調整を図ることもある。

また、今年度も郊外散策ということで、送迎車を使って出かけるレクリエーションを5月から10月の間に3回企画し、延べ60名が参加した。意見交換会で行きたい場所を出してもらったものをもとに行先を決めるなど、利用者に関わりを持つことが出来るようにしている。

外出するレクリエーションでは、職員体制を確保するために、2事業所合同での実施も行っているが、対応が難しくなってきたり、来年度は事業所ごとでの実施を検討している。

(7) 身体機能及び日常生活能力の維持・向上のための支援

側弯や痙性の強さなど利用者の身体状況を考え、昼休みや午後の活動の中で、車いすから降りて横になる時間を作るようにしている。

また、午後の活動の前にラジオ体操を取り入れ、心身の緊張を和らげ、午後の活動への気持ちの切り

替えを促すような対応を行っている。

なるべく現状の身体機能を維持していただくため、その日の利用者の体調を考慮しながら、自分でできることは時間をかけてでも行ってもらうよう心がけながら支援をしている。

呑み込みや呼吸などの面で不安が出てきている利用者もいるため、外部の医療機関や言語療法士、看護師などとの連絡を密にして対応している。

(8) 社会参加の促進

今年度も、それぞれの事業所がある地域で赤い羽根共同募金の街頭募金活動に参加し、積極的に社会とのかかわりを進めている。

社会貢献の一環として、地域のゴミ拾いなども散歩を兼ねて行うことを通して、町内の皆さんに理解を深めていただくよう努めている。

生活介護事業所「O・むすび(おむすび)」では、町内会のゴミステーションの清掃や雪投げの当番に入り、町内会の構成員として活動している。

また、生活介護事業所「O・H・G(おはぎ)」では、同じ町内会にある保育所の年長児童が事業所を訪れ利用者との交流を行い、児童の障害者理解を深める機会となった。

(9) 生活相談

利用者及び保護者の生活に関する相談に対しては、常に対応できるようにしている。

ヘルパーステーションと協力しながら、利用者が希望する施設見学を設定し同行することなどを通して、利用者の今後の生活に結びつく支援ができるようにしている。

(10) サービスの質の向上に向けた取組

現状土曜日の開所は第2と第4の土曜日のみで、レクレーションに特化した活動内容としているため、参加人数の調整が必要となり、毎回の利用が難しくなっている。

保護者会などの話合いの中でも、土曜日の利用を希望する声が出ており、今後職員体制の整備などを行い、全土曜日の開所を目指したい。

2. 利用者の状況(平成30年3月末現在)

昨年度よりも利用者が、生活介護事業所「O・H・G(おはぎ)」では4名、生活介護事業所「O・むすび(おむすび)」では1名増えている。

障害支援区分は、最も重度な支援区分6の利用者が圧倒的に多いことには変わりはない。

稼働率としては、生活介護事業所「O・H・G(おはぎ)」が75.9%(前年度69.9%)、生活介護事業所「O・むすび(おむすび)」が84.9%(前年度84.8%)となっており、重度の利用者が多いため体調不良でのお休みが多いこととお休みの期間が長いことが課題となっている。

ヘルパーステーション DAI-ふくでは、契約者数は横這いだが、利用回数は年々増えている。

相談支援事業所からの問い合わせも寄せられているが、ヘルパーの人数が少なく、利用希望時間が重なることが多いため、対応できない状況である。

※生活介護事業所「O・H・G(おはぎ)」

*定員 20名

*契約者数 38名(男性 21名、女性 17名、平成30年3月末現在)

10代	20代	30代	40代	50代	60代
4名 (男2・女2)	22名 (男14・女8)	5名 (男3・女2)	5名 (男1・女4)	1名 (男1・女0)	1名 (男0・女1)

* 障害支援区分(3月末平均障害支援区分 5. 3)

区 分	2	3	4	5	6
人 数	0名	3名	1名	8名	26名

※生活介護事業所「O・むすび(おむすび)」

*定 員 20名

*契約者数 30名(男性 14名、女性 16名、平成30年3月末現在)

10代	20代	30代	40代	50代	60代
4名 (男2・女2)	11名 (男3・女8)	14名 (男9・女5)	1名 (男0・女1)	0名 (男0・女0)	0名 (男0・女0)

* 障害支援区分(3月末平均障害支援区分 5. 1)

区 分	2	3	4	5	6
人 数	0名	1名	4名	10名	15名

※ヘルパーステーション DAI-ふく (平成30年3月末現在)

居宅介護事業契約者数 18名

移動支援事業契約者数 20名

重度訪問介護契約者数 5名

3. 利用状況(平成30年3月末現在)

※生活介護事業所「O・H・G(おはぎ)」

*平均利用人数 38名/月

区 分	2	3	4	5	6	合 計
月 平 均 利 用 人 数	0名	3名	1名	8名	26名	38名
月平均利用総日数	0日	38日	3日	95日	186日	322日

*平均開所日数 22日/月

*開所日平均利用人数 15.2名/日

※生活介護事業所「O・むすび(おむすび)」

*平均利用人数 30名/月

区 分	2	3	4	5	6	合 計
月 平 均 利 用 人 数	0名	1名	4名	10名	15名	30名
月平均利用総日数	0日	21日	77日	125日	172日	395日

*平均開所日数 22日/月

*開所日平均利用人数 17.0名/日

※ヘルパーステーション DAI-ふく

居宅介護事業平均利用回数 38回/月

移動支援事業平均利用回数 28回/月

重度訪問介護平均利用回数 12回/月

4. 平成29年度の活動

月	日	曜	活動内容	月	日	曜	活動内容	
4 月	4	火	おはぎ新利用者歓迎式	5 月	14	土	おはぎレク（母の日レク）	
	6	木	おむすび新利用者歓迎式					おむすびレク（ビーズストラップレク）
	8	土	おはぎレク（メロンパン作りレク） おむすびレク（桜餅作りレク）		16	火		チーフ会議
	12	水	おむすび第20回常勤職員会議		17	水		おむすび第21回常勤職員会議
	14	金	おむすび第20回スタッフ会議		19	金		おむすび第21回スタッフ会議
	18	月	おはぎ保護者会 チーフ会議		20	土		郊外散策（新千歳空港）
	19	水	おはぎ第70回常勤職員会議 ドライバー会議		24	水		おはぎ第71回常勤職員会議 ドライバー会議
	20	木	おむすび保護者会		25	木		合同常勤職員会議
	22	土	おはぎレク（メロンパン作りレク） おむすびレク（おこめレク）		29	月		おはぎ第74回スタッフ会議
	24	月	おはぎ第73回スタッフ会議					
6 月	8	木	合同常勤職員会議	7 月	1	土	真養おやじの会出店	
	10	土	おはぎレク（お寿司食べ放題レク） おむすびレク（ランチバイキング）		3	月		吉田学園チャリティーコンペ出店
	12	月	おむすび第22回常勤職員会議		7	金		コカ・コーラファンデーご招待（合同）
	14	水	おむすび第22回スタッフ会議		8	土		おはぎレク（夏のカレー作りレク） おむすびレク（スイーツ作りレク）
	15	木	拓北高1販売学習出店		12	水		おむすび第23回常勤職員会議
	19	月	イエローレシート贈呈式		13	木		おむすび第23回スタッフ会議
	21	水	おはぎ第72回常勤職員会議		17	月		理学療法士会出店
	24	土	合同運動会		19	水		おはぎ第73回常勤職員会議
	26	月	おはぎ第75回スタッフ会議		21	金		避難訓練（おはぎ）
					22	土		郊外散策（さくらんぼ狩り）
			24	月		おはぎ第76回スタッフ会議		
			26	水		拓北サマーフェスタ出店 ドライバー会議		
			31	月		避難訓練（おむすび）		
8 月	5	土	おはぎレク（スタンプDEハンカチレク） おむすびレク（エンジェルケーキボリューションレク）	9 月	2	土	楡の会秋まつり出店	
	17	木	おむすび第24回常勤職員会議		8	金		おむすび第25回常勤職員会議
	18	金	おむすび第24回スタッフ会議		9	土		おはぎレク（ピザ作りレク） おむすびレク（タコライスレク）
	22	火	合同常勤職員会議		13	水		おむすび第25回スタッフ会議
	23	水	おはぎ第74回常勤職員会議		14	木		合同常勤職員会議
	26	土	おはぎレク（ピザ作りレク） おむすびレク（BBQレク） ユアホームサービス福祉まつり出店		16	土		ぴあとぴあ秋まつり出店
	28	月	おはぎ第77回スタッフ会議		20	水		おはぎ第75回常勤職員会議
	30	水	真養中学部販売学習出店		24	日		クラークライオンズ交歓の集い出店
					25	月		おはぎ第78回スタッフ会議
					27	水		合同常勤職員会議 ドライバー会議
			30	土		おはぎレク（ゴスペルレク） おむすびレク（フォトフレームレク） 豊成ふれあいフェスタ出店		

8 月	5	土	おはぎレク (スタンプDEハンカチレク) おむすびレク (エンジェルケーキボリューションレク)	9 月	2	土	楡の会秋まつり出店
	17	木	おむすび第24回常勤職員会議		8	金	おむすび第25回常勤職員会議
	18	金	おむすび第24回スタッフ会議		9	土	おはぎレク (ピザ作りレク)
	22	火	合同常勤職員会議		13	水	おむすび第25回スタッフ会議
	23	水	おはぎ第74回常勤職員会議		14	木	合同常勤職員会議
	26	土	おはぎレク (ピザ作りレク) おむすびレク (BBQレク)		16	土	ぴあとぴあ秋まつり出店
			ユアホームサービス福祉まつり出店		20	水	おはぎ第75回常勤職員会議
	28	月	おはぎ第77回スタッフ会議		24	日	クラークライオンズ交歓の集い出店
	30	水	真養中学部販売学習出店		25	月	おはぎ第78回スタッフ会議
					27	水	合同常勤職員会議 ドライバー会議
			30	土	おはぎレク (ゴスペルレク) おむすびレク (フォトフレームレク) 豊成ふれあいフェスタ出店		
10 月	3	火	おはぎ赤い羽根共同募金参加	11 月	4	土	北翔祭出店
	4	水	おむすび赤い羽根共同募金参加		11	土	おはぎレク (秋のリース作りレク①) おむすびレク (ポッキー作りレク)
	8	日	ふれあいフェスタ		15	水	おむすび第27回常勤職員会議
	14	土	郊外散策 (ウイングベイ小樽)		17	金	おむすび第27回スタッフ会議
	18	水	おむすび第26回常勤職員会議		20	月	合同常勤職員会議
	20	金	おむすび第26回スタッフ会議		22	水	おはぎ第77回常勤職員会議
	23	月	合同常勤職員会議		25	土	おはぎレク (秋のリース作りレク②) おむすびレク (読み聞かせレク)
	24	火	おむすび送迎車贈呈式(アステラス製菓)		27	月	おはぎ第80回スタッフ会議
	25	水	おはぎ第76回常勤職員会議		30	木	発達障害の事例検討
	28	土	おはぎレク (読み聞かせレク) おむすびレク (ライスバーガーレク)				
30	月	拓養祭出店 おはぎ第79回スタッフ会議					
12 月	8	金	年末合同レク	1 月	6	土	父母の会成人式
	13	水	おむすび第28回常勤職員会議 ドライバー会議		13	土	おはぎレク (お弁当作りレク①) おむすびレク (ゆったりのんびりレク)
	15	金	おむすび第28回スタッフ会議		17	水	おむすび第29回常勤職員会議
	16	土	おはぎレク (ハンドベルレク) おむすびレク (クリスマスレク)		19	金	おむすび第29回スタッフ会議
					24	水	おはぎ第78回常勤職員会議
	25	月	おはぎ第81回スタッフ会議		27	土	おはぎレク (お弁当作りレク②) おむすびレク (雪遊びレク) おむすび避難訓練
			29	月	おはぎ第82回スタッフ会議		

2 月	10	土	おはぎレク（運動&防災レク） おはぎ避難訓練 おむすびレク（豆まきレク）	3 月	10	土	おはぎレク（お買い物レク①） おむすびレク（ちらし寿司&癒しレク）
	14	水	おむすび第30回常勤職員会議		14	水	おむすび第31回常勤職員会議
	15	木	おはぎ臨時常勤職員会議		16	金	おむすび第31回スタッフ会議
	16	金	おむすび第30回スタッフ会議		23	金	おはぎ第80回常勤職員会議
	21	水	おはぎ第79回常勤職員会議		24	土	おはぎレク（お買い物レク②） おむすびレク（森の譚バイキングレク）
	22	木	合同常勤職員会議		26	月	おはぎ第84回スタッフ会議
	24	土	おはぎレク（ひなまつりレク） おむすびレク（タコ焼きパーティーレク）		27	火	おはぎ「ちゃいれっく」さんとの交流会
	26	月	おはぎ第83回スタッフ会議				

*この他にも、各事業所でのケア会議を随時実施。また、外部でのケア会議等にも積極的に参加。

5. 実習、見学等受け入れ

○・H・Gおはぎでは、真駒内養護学校高等部生、拓北養護学校高等部生8名の実習を受け入れた。
また○・むすびでは、真駒内養護学校高等部生、拓北養護学校高等部生5名の実習を受け入れた。
見学については、○・H・G、○・むすびで利用希望者や養護学校PTA、養護学校教員、他事業所、相談支援事業所、専門学校生等の受け入れを行った。

6. ヒヤリハット、事故件数

当法人の考え方として、ヒヤリハットも事故も、起こりうるものだという考えの下で、起こってしまったことは事故（膝をつくなどの軽微な事でも）として処理をしているため、事故の件数が多くなっていると考えられる。

また、ヒヤリハットや事故の報告から、改善する点を見つけたり、職員が自らの介助について考える良い機会ととらえ、ヒヤリハットや事故をうやむやなままにしない職場環境を作ることを目指している。

*ヒヤリハット総数 12件

*ヒヤリハット月別・発生場所別内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
浴室・脱衣所	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
トイレ	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4
活動室内	0	2	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	6
玄関前	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
合計	1	4	1	3	1	1	0	0	0	1	0	0	12

※ 最近の傾向として、利用者のとっさの行動に、職員が対応しきれなかった場面や利用者の身体状況の変化による、今までの動きとの差異に職員が対応しきれないことでのヒヤリハットの発生が多くみられる。

そのため、今まで以上に今後の対策の話合い等を職員間で重ねることで、施設内での転倒防止、送迎時の事故防止、入浴時・排せつ時の事故防止及び外出時の事故防止に努め、特に配慮を要する利用者への見守りや支援に関しては、職員間で情報を共有し、再度支援に対する共通理解を図っている。

また、毎月行うスタッフ会議で確認を行い、指導を行っている。

*事故件数 23件

* 事故月別・発生場所別内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
浴室・脱衣所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
トイレ	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	4
活動室内	0	0	1	3	1	4	0	0	1	1	0	2	13
玄関前	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2
洗面所	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
外出先	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
合計	2	0	2	3	2	6	1	0	1	1	2	3	23

※ この中で、病院を受診した1件については、事故発生状況報告書を札幌市に提出している。

* 事故内容

- ・トイレで移乗の際に体勢が崩れ、床に座り込んだ。
- ・送迎車に乗り込む際に、膝をついてしまった。
- ・椅子に座ろうとして、足がもつれ転んだ。
- ・床の配管の蓋につまずき、膝をついた。
- ・ミシンの作業中に、爪の先に針が刺さった。(札幌市への報告事例)
- ・利用者が急に立ち上がり動き出した際に、横になっていた利用者の手を踏んでしまった。
- ・椅子に座った状態で床の物を取ろうとして、転倒した。
- ・コップを倒してしまい、少し熱めの飲み物が足にかかった。
- ・トイレで立ち上がりの介助をした際に、利用者の膝に力が入らず床に座り込んだ。
- ・歩行中にテーブルの脚に引っかかり、両膝をついた。
- ・歩行中に音に驚き、両膝をついた。
- ・トイレ介助中に立位を取ることができずに、床に座り込んだ。
- ・送迎車に向かう途中、歩行が不安定になり地面にしりもちをついた。
- ・利用者が椅子に座ろうとしてバランスを崩ししりもちをついた。
- ・冷蔵庫からものを出し扉を閉めようとしたときに、後ろにあった椅子に足を取られしりもちをついた。
- ・送迎車から玄関に向かう途中で、滑って転んだ。
- ・しゃがんだ状態から立とうとして、しりもちをついた。
- ・脱衣場で椅子にぶつかった。
- ・利用者が投げたボタンが、ほかの利用者に当たった。
- ・入浴中に、利用者が自分の足の爪をはいだ。

※ 利用者の身体状況の変化で、今までの介助方法では対応できなくなっていることがあり、同じような状況での事故や危険があることを職員がわかっているにもかかわらずおこってしまう事故、同じ利用者の事故報告が多く発生している。

これは、見守りの対応の仕方、利用者とのコミュニケーションの取り方などを工夫することが防止につながるのではないかと考え対応している。

常に報告書を基に職員間で事故が発生した状況を確認し合い、注意の徹底を再度行い、危険個所の改善、活動中での危険性のある場面の検証を行い、職員間で事故に至らないための対応を検討し、共通理解を図っている。

また、事故報告書の作成の流れ及び対応の検討について、全職員間で考え、考えを統一していくことを再度確認している。

なお、毎月行うスタッフ会議で確認を行い、指導を行うと共に、日中活動の中でも介助方法の確認やシュミレーションなどを行っている。

7. 売り上げ及び工賃支払状況

*売り上げの状況と工賃の支払い状況 (H29年4月からH30年3月まで)

月	売り上げ額	材料費	残 額	工賃支払額
4月	30,121	78,866	△48,745	130,400
5月	27,998	19,595	8,403	135,400
6月	38,504	19,288	19,216	140,400
7月	173,858	38,646	135,212	127,800
8月	37,696	6,894	30,802	132,800
9月	73,403	19,377	54,026	134,800
10月	127,095	21,254	105,841	134,800
11月	141,953	19,628	122,325	130,400
12月	30,364	8,638	21,726	126,600
1月	28,088	10,234	17,854	120,600
2月	25,457	6,954	18,503	122,200
3月	35,340	1,080	34,260	133,800
合 計	769,877	250,454	519,423	1,570,000

市内の養護学校や施設の行事等での出店及び元気ショップでの委託販売を中心に販売活動を行った。(7月は吉田学園のチャリティーゴルフコンペ表彰式での販売、10月はふれあいフェスタでの売り上げ、11月は障がい者の日の記念品受注があったため、売り上げが大きくなっている。)

工賃については、O・H・G(おはぎ)、O・むすびで、一律1日200円の工賃を支給した。

(レクレーション、行事の参加時は除く)